

MicRoad

ORIGINALITY OPEN THE WAY



ATSUGI MICRO Company Newsletter

2025

Autumn/Winter

vol.3

ATSUGI
MICRO CO., LTD.



厚木ミクロ 大改造計画、始動!

働く環境をもっと快適に、もっと楽しく

今年度、厚木ミクロで社内大改造プロジェクトが始動しました。
より快適に、より安心して働ける環境を目指し、就業規則の見直しから設備のリニューアルまで、さまざまな取り組みを行いました。
今回の特集では、その舞台裏と社員のリアルな声をたっぷりご紹介します。
働く環境が変われば、気持ちも変わる—。
厚木ミクロが変わっていく、その瞬間を、ぜひ一緒に感じてください。

MicRoad(ミクロード)

厚木ミクロのMicro+道のRoadから名付けました。会社と社員をつなぐ道をイメージしています。一人ひとりの社員の活躍や当社の目指す未来をみんなで共有したいという思いを込めています。

設備



大規模外壁塗装工事を行いました

～外壁から始まる、新しい厚木ミクロ～

長年の雨風にさらされてきた社屋の外壁。経年劣化が進み、雨漏りのリスクも高まり、修繕が必要になってきました。20周年を迎えるにあたり、大規模な外壁塗装工事を実施することに。防水性を高める塗料を使用し、雨漏り対策としての機能性を重視した施工を行いました。

しかし、今回の塗装は“直す”だけでは終わりません。社屋の印象を一新するため、カラーもリニューアルしました。機能性とデザイン性の両立を目指し、企業イメージや周囲との調和も考慮しています。

外壁は、会社の“顔”とも言える存在。社員の安全

と快適さを守りながら、訪れる人にも好印象を与える空間づくりをこれからも進めていきます。



ミーティングボックス導入

～静けさと、くつろぎの空間を～

これまで、打ち合わせスペースが隣接しているため、集中したい会議や来客の際、周囲の音が入り込んでしまうという課題がありました。

今年の夏、防音ミーティングボックスを導入しました。壁には吸音材を使用。外の音を遮るだけでなく、内部の声も外に漏れにくくなりました。座り心地にもひと工夫。ソファ席を採用し、ゆったり座れる空間を演出しました。

「静かな場所で話したい」「お客様に落ち着いた空間を提供したい」。そんな時に誰でも気軽に使える存在として、社内で定着しつつあります。



工務課がハト対策を実施

～知恵と技術が光るDIY力～

社内の設備改善や環境整備を担う工務課は、まさにユーティリティのプロ。幅広い技術を持ち、必要なものは自分たちで設計・施工できるのが最大の強みです。過去には厚木市からインタビューを受けるほど、その技術力と柔軟な対応力が高く評価されています。

最近では、ハトの侵入に悩まされていた社屋の一角をDIY。外部業者に頼ることなく、ネットやワイヤーを使い自社で施工しました。費用を抑えつつ効果的な対策ができました。



高所作業も
お手のもの

過去には
フクロウで
対策も

作業 効率化



生産効率化を進めた現場担当者に、ミクロちゃんがインタビューしました。

検査室を拡張しました

Q. なぜ拡張することになったのですか？

A. 生産数が増えたからです。将来的なお客様からの増産計画を見据えると、現在の検査エリアでは、十分な人員を確保するにはスペースが狭いと感じていました。

Q. どのように「改造」したのですか？

A. 検査エリアの面積をこれまでの1.6倍に拡張しました。検査ブースは2席増やし、検査員を1.5倍増員できるようにしました。分析用の高精度顕微鏡も設置しました。

Q. 「改造」でどう変わりましたか？

A. 広さを確保することで、全てのブースに人がいても狭苦しさを感じなくなりました。また、検査員専用の高精度顕微鏡をブースに設置していたため、顕微鏡待ちがありました。検査員のタイミングで使用できるので、確認作業がスムーズになりました。



生産ラインの省人化を進めました

Q. なぜ省人化を進めることになったのですか？

A. 金属膜エッチング(薬品の化学反応を用いて素材表面を加工する技術)を行う現場には、金属ごとに加工用の専用装置があります。異なる種類の金属が積層されている製品を加工する場合、その金属の加工に合った装置を使って順に処理していく必要があります。

今までは、一貫ラインになっていない装置があったので、作業者が1枚1枚、製品をカセットに収納して、次の処理に進めていました。必ず1人が固定で作業にあたればならず、効率化を求めて省人化計画を進めることにしました。

Q. どのように「改造」したのですか？

A. 自動カセット収納装置と生産ラインの間から自動投入できる装置それぞれ1台ずつ、新たに導入し、一貫ラインを構築しました。

Q. 「改造」でどう変わりましたか？

A. 装置を導入してから、途中で収納するための作業を削減することが可能になり、3人でやっていた作業が2人でできるようになりました。

働き やすさ



就業規則見直し、説明会開催

～社員一人ひとりが自分らしく～

働き方や価値観の変化に合わせ、より働きやすい職場を整えたい。そんな思いから今期は就業規則の大幅な見直しを行い、全社員を対象に初めて説明会を開催しました。説明会では、「こうしたらもっと働きやすくなるのではないか」「こんな時はどうすればいいか」など、社員からの質問もありました。

今後も、法令対応や実態に即した制度の見直しを

継続していく予定です。厚木ミクロは、働きやすさや公正さを追求することで、一人ひとりが自分らしく力を発揮できる職場を目指していきます。



健康支援相談窓口をリニューアル

～安心して働けるように～

9月より産業医を変更し、「ハラスメント相談窓口」「メンタル相談窓口」「健康総合相談窓口」をリニューアルオープンしました。社員の皆さんは24時間、社労士や産業医の資格を持つ専門家に匿名でメール相談ができます。

昨今、心身の健康や職場の人間関係に対する関心が高まる中で、「何かあったときに安心

して相談できる体制が必要」と、安全衛生委員会からの発案で実現しました。

今後はこうした制度を策定するとともに、使いやすい信頼される仕組みに育てていきたいと思っています。



DX推進で労務の見える化実現

～紙と電子の共存を目指して1年～

20年以上利用していた勤怠管理ソフトを刷新、クラウド型の勤怠管理・人事労務システムを導入して丸1年が経過しました。

導入前は月に1度、紙で配布していた給与明細や勤怠記録でしたが、今は過去のものや当月のものをリアルタイムで確認できるようになっています。他にも勤怠や人事情報の確認作業を複数人同時に行ったり、会社と社員をつなぐツールとして少しずつ浸透しています。今後もデータの適正利用と管理を進め、勤務情報の健全な管理を目指していきます。



未来をつなぐ採用力

～マイナビサイトリニューアルの舞台裏～

当社は、次世代を担う若手人材の採用活動に力を入れています。20～30代の社員の割合は全体の3分の1を占めるまでに。新卒採用を始めて3年目となる今年は、学生向けのナビサイトを全面リニューアルしました。

厚木ミクロの雰囲気や働く人の姿がより伝わるよう、写真やコンテンツを見直し、各部署の協力のもとインタビューや撮影も実施しました。製造

現場で働く社員の真剣な表情や若手社員の笑顔など、リアルな姿を切り取りました。

サイトリニューアル後には、応募者から「ナビサイトを見て厚木ミクロに興味を持った」といった声も多く寄せられ、工場見学への参加希望者も前年に比べて大幅に増加するなど、採用活動への手応えを感じてい



ます。

さらに、公開からわずか数週間で学生からの応募があり、当社初となる既卒(第二新卒)の社員が入社す

るという嬉しい成果も生まれました。

今後も社員一人ひとりの魅力を発信しながら、未来の仲間との出会いを大切にしていきます。

インタビュー

新卒2期生 & 第二新卒インタビュー

今年度は、新卒2名と既卒1名が新たに仲間に加わり、社内に新しい風を吹き込んでくれました。もうすぐ入社から半年を迎える、フレッシュな3名に話を聞きました。

入社を決め手を教えてください

Tさん 製造関係の会社を中心に3～5社受けましたが、職場の雰囲気が良かったことが入社を決め手になりました。

本音を言うと、入社前は年齢が離れている方とうまく打ち解けられるか、コミュニケーションの面で少し不安がありました。しかし、実際に入社してみると、みなさんとても優しく接してくれ、気兼ねなく過ごすことができています。

Yさん 僕もTさんと同じで、会社説明会や工場内の見学中に雰囲気の良さを感じました。

第二新卒(既卒)という立場での入社でしたが、すれ違った時に挨拶してくれたり、他部署の方も休憩中などに気軽に話しかけてくれて、すぐに馴染むことができました。

また、ブラザーシスター制度や勉強会など、安心して学べる環境があることもいいなと思いました。

学生から社会人になって働いてみていかがですか？

Mさん 入社前後であまりギャップは感じませんでした。入社前も入社後も、社員の方々はフレンドリーで話しやすいです。

仕事に関しては、最初は治具(加工

物を固定し、作業ガイドをするための補助工具)が重くて驚きました。製造は力仕事も多く体力勝負なので、週に1～3回ジムに通って鍛えています。あと、社会人になって初任給をいただきましたが、税金ってこんなに引かれるんだ…とびっくりしました(笑)

Yさん 困った時はすぐに周りの先輩がサポートしてくれるのがありがたいです。ライン上で問題が起きた時は駆けつけて対処してくれたり、自分が作業を多く抱えてしまった時は通るかかった先輩が手伝ってくれたり、安心して作業に取り組んでいます。

入社した直後は自分のことで精一杯でしたが、製品を運んでいる時にドアを開けてもらったり、薬品を運ぶのを周りの人に手伝ってもらった中で、今後はそういったことを自分も積極的にやっていきたいと思うようになりました。

今後の目標を教えてください

Tさん まずは今行っている業務を効率的にできるようになり、どんどん新しい仕事を覚えていきたいです。スキルアップ制度(社内試験)にもチャレンジしていきたいですね。

将来的には検査以外にも、幅広い業務ができるオールラウンダーになりたいです。

品質をさらに向上するにはどうしたらいいか考えたり、顧客対応にも興味があります。

Mさん 僕は作業場が1階から2階へ変わったので、まずは今教えてもらっている仕事を確実にできるようにになりたいです。

分からないことがあれば質問したり、不安な時は確認することを心がけています。1つ1つの作業を積み重ねながら、ゆくゆくは1人で何でもできるようになりたいです。

番外編 上司・先輩社員からのメッセージ

MさんもYさんも、とても一生懸命取り組んでくれています。覚えも早く、分からないことや困っていることは言ってくれるので、教える側としてもやりやすいです。

ただ聞くだけでなく、自分で考え、率先して動ける面も持ち合わせています。仕事を進めていく上で目的意識を持ってもらいたいので、ただ作業として教えるのではなく、その作業をやる目的や意味も伝えるようにしています。製造部は力仕事や覚えることも多いですが、これからも更にできることを



増やして、将来的には顧客との技術的な話や、生産におけるプロセス構築にあたるような人材になっていてもらいたいです。

◇ ◇ ◇

Tさんはメリハリがはっきりしているタイプで、集中すべきところと、力を抜くところの調整がうまいと感じています。また、理解度・作業精度ともに高く、体を使った細かな作業も向いていると思います。他の検査員からも、集中力の高さや明るく素直なコミュニケーションが高く評価されています。

指導する際には、あまりプレッシャーをかけ過ぎないように、本人のペースや理解度を大事にしていますね。品質保証部では顧客対応の仕事も多いので、持ち前の人柄を活かしながら、顧客対応もできるように一緒に頑張りましょう!

ないモノづくり。—厚木ミクロは、「世の中にまだないものをつくる」開発者集団です—

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

MicRoad Vol.3では、新しく仲間に加わった社員の声や、社屋の外壁リニューアル、工務課の工夫あふれる取り組みなど、社内さまざまな話題をお届けしました。取材や撮影にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。厚木ミクロでは、社員がいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。日々の工夫や改善が働きやすさに繋がっていくことを信じて、「創意新拓道」の精神のもと、これからも前向きに進んでいきたいと思ひます。次回は20周年の節目の年に充実した社外報をお届けできるよう準備を進めてまいりますので、どうぞお楽しみに!

